

令和七年度 奈良金春会演能会

令和七年四月二十日(日) 午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薨
(旧称 奈良県新公会堂)

能楽ホール

奈良市春日野町一〇一番地
電話(〇七四)二七二二六三〇(代)

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

仕舞 自然居士
芦刈キリ 田中直樹
中田能光

能 源氏供養

シテ(前・里) 高橋忍
ワキ(後・紫) 式部女 原大
ワキツレ(從) 僧 原陸
ワキツレ(從) 僧 久馬彦
笛 赤井啓三
小鼓 荒木建作
大鼓 守家由訓

〈休憩 二十分〉

狂言 二九十八

仕舞 嵐山 金春飛翔
小塩キリ 中村昌弘
鞍馬天狗 本田芳樹

シテ(男) 茂山宗彦
アド(夢想の妻) 井口竜也

能 融

シテ(前・老) 金春嘉織
ワキ(後・源) 僧 原陸
ワキ(旅) 僧 原陸
アイ(門前の者) 島田洋海
笛 赤井要佑
小鼓 荒木建作
大鼓 森山泰幸
太鼓 上田悟

付祝言

(終了予定 午後四時三十分頃)

都の安居院の法印(ワキ)が供の僧(ワキツレ)を連れ、石山寺(滋賀県)に参詣する。法印の前に女(前シテ)が現れ、「源氏物語」の主人公である光源氏の供養を頼み、自分は紫式部であるとのめかし消え失せる。そこで法印が供養すると、紫式部の霊(後シテ)が現れて布施の代わりに曲舞を舞う。紫式部が石山観音の化身であり、「源氏物語」は無常を世に知らせるために書かれたと霊は述べる。

紫式部の霊の舞う、長大な曲舞が中心です。曲中には、「源氏物語」の巻名が巧みに詠みこまれています。

融

(とおる)

旅の僧(ワキ)が都の六条河原院で汐汲みの老人(前シテ)と出会う。老人は、昔、融の大臣が河原院に陸奥塩竈の浦を模して庭を作り、難波浦から運んだ海水で塩焼きをし、数々の遊びをしたことを語る。さらに老人は都の名所の山々を教え、田子を担いで汐を汲むと汐煙の中に姿を消す。近くに住む男(アイ)が融の話語り、僧は眠りにつく。月明かりの下、融の霊(後シテ)が在りし日の姿で現れる。融の霊は懐旧の思いで「早舞」を舞い、月の都に帰って行く。

源融は政治的には不遇でしたが、風雅に生きた人物として知られます。紀貫之の歌「君まさで煙絶えにし塩竈のうらさびしくも見えわたるかな」が主題曲のように響きます。世阿弥作。

次回予告

六月二十九日(日) 午後十二時半

能 奈良詣

能 鶺鴒飼

七月二十七日(日) 連合謡曲仕舞会

能 小鍛冶

能 景清

十月十九日(日) 午後十二時半

田中直樹
金春穂高

四枚綴回数券

二〇、〇〇〇円

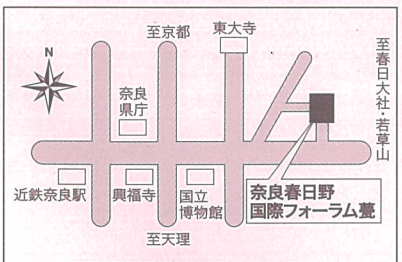
一般一回券

七、〇〇〇円

学生一回券

三、五〇〇円

◎鑑賞券は、奈良春日野国際フォーラム薨でも取り扱います。



奈良春日野国際フォーラム薨 能楽ホール

電話(〇七四二)二七二六三〇(代)

・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環

「大仏前」下車 東へすぐ

・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

主催 奈良市教育委員会
後援 奈良県

(公社)金春円満井会

お問合せ 電話 (〇七四二) 三三一九七二〇 金春

◎特別に許可された人以外の 写真撮影・録画・録音は お断りします。

◎携帯電話は電源をお切り下さい。また、会話・飲食など、他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。

◎奈良春日野国際フォーラム薨の駐車場は、現在一般の方の車の受け入れをしております。

◎満席の場合など、当日会場では入場券を発売しない事があります。又、入場制限する事もあります。

◎都合により、演者、曲目が変更される場合があります。

◎新型コロナウイルス感染症対策として

●マスクの着用は、ご来場されたお客様の任意といたしますが、場内での会話はお控えください。

●また、アルコール消毒については、今まで通りお願いいたします。

●入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。

●会場の定員は五〇〇名ですが、座席数に制限をかける場合があります。